

## 塙検校が稲荷神社これい（現在は御霊稲荷神社）に奉納した刀

昭和十二年発刊の「塙検校遺物集」（武蔵国二宮 金鑽神社 金鑽武城 宮守 著）によると

### 「飾御太刀」一振

これは先生が天明三年に生家の鎮守稲荷（大）明神に寄進せられしものなり、  
太刀の長 三尺五寸（百六センチ）なり装飾は 柄（つか）は絹糸巻 鐔（つば）は南蛮鉄にして  
鞘（さや）は青貝塗、 鑑（こじり）刀のさやの末端 さやじり）は赤銅、帯紐は紫色の絹糸にて  
二筋 長四尺三寸（百センチ）あり

太刀は桐箱に納めあり

表に 御太刀

天明三卯年七月吉日

中に 奉納稲荷大明神御宝前

江戸土手四番町 願主 塙検校

この太刀は現に村社稲荷神社の宝物として伝わり 神職鈴木徹三氏の家に保管しあり。  
按ふに是 天明三年三月に先生が検校に進みし年なれば奉賛の意ならむ。

※括弧内説明やルビは田中学の注釈です。漢字は現代文字で代用してあります。

※この刀は終戦の混乱で行方不明になっています。



なお、「塙検校遺物集」は「塙保己一先生遺徳顕彰会」のホームページに公開してあります。

塙検校遺物集

塙保己一先生遺徳顕彰会のホームページ

<http://www.hanawahokiichi.org/>